

シャローム shalom 2012.9 No.113



老人保健施設とリハビリテーション

なかた ひろひさ

バプテスト老人保健施設施設長 中田 裕久

老人保健施設は介護施設ですが、病気やけがで入院治療した後、自宅へ戻るためのリハビリテーション（以下リハビリ）を目的の一つとして設立されています。入院期間が長引くとご高齢の方は歩くことが困難になるなど、ご自宅での生活に支障をきたすことがよくあります。その方本来の生活を取り戻すためにはリハビリがどうしても必要です。バプテスト老人保健施設では現在5名の理学療法士と2名の作業療法士が、日本バプテスト病院やその他の病院から多くの方を受け入れてリハビリを行っています。骨折で手術をした方、脳梗塞で手足のまひをおこした方、肺炎で入院され歩きにくくなった方など、皆さん本来

の生活を取り戻そうとがんばっておられます。また閉じこもりがちとなるご自宅で療養中の患者さんも、老人保健施設に入所したり、通ったりしてリハビリに取り組むと元気を取り戻されます。

またバプテスト老人保健施設では専門的なリハビリに加えて様々なレクリエーションも行われています。音楽やお茶の時間もあり、利用者さん同士の楽しい会話があります。自ら体を動かす楽しい時間が身体と心を活発にしてくれます。老人保健施設で過ごすことにより日常生活の動作が回復し、認知症状も改善します。老人保健施設の生活そのものがリハビリなのです。

Relay Column

バプテスト リレーコラム vol.10

地域医療介護支援センター

きのした こういち
センター長 木下 浩一



地域医療連携室、医療福祉相談室、入退院支援室：
スタッフは同じ場所で情報を共有しています。

誰もが「年を重ねても病気になっても自分らしく暮らしたい」と願う一方で、ライフスタイルの変化や核家族化が進むなど家族だけで介護することが難しい状況になってきています。私どもは、病気や障害をお持ちの小児から高齢の方、介護を必要とされる方が、ご家族や地域の援助によって住み慣れた地域社会で、自分らしく、安心して治療、療養できるよう、お一人お一人のニーズにあわせ、保健・福祉・医療の身近な専門家として対応し、より専門的で質の高い温かいサービスを提供したいと考えています。



施設介護支援室：利用者さん家族と面談中

今後、地域の医療・福祉の拠点としての私どもの役割は、ますます重要なものとなってまいります。今まで以上に、地域の医療機関や介護事業所、町内会や民生委員の方々とも連携し、地域に貢献できるよう努力してまいります。まずはお気軽にご相談ください。

地域医療介護支援センターは、日本バプテスト病院の受診、入院から退院、そして退院後の通院、療養に関して、日本バプテスト連盟医療団の持つ医療、介護の機能を十分に発揮し、地域の皆様に貢献することを目的として2012年4月に発足いたしました。また、7月より地域の医療介護福祉機関、住民の方を対象として、医療と介護に関する電話相談窓口も開設いたしました。

同センターは、地域医療支援部として地域医療連携室、医療福祉相談室と入退院支援室、介護支援部として施設介護支援室と居宅介護支援事業所の5部署と総合調整窓口で構成されています。



居宅介護支援事業所：
スタッフカンファレンスをおこなっています。

センター化により、業務内容の再編とサポート窓口の一本化を行いました。患者や利用者の皆様にとって、医療・療養・介護を分かりやすく円滑に、安心して受けていただける体制を整えることで、これまで以上に患者、利用者中心の支援を提供してまいります。



A Biblical alley

聖書の小道

第3回

イエスの働き

盲人はたちまち見えるようになり、

神をほめたたえながら、

イエスに従った。

これを見た民衆は、

こぞって神を賛美した。

ルカによる福音書

18章43節

みやがわ ゆみこ

牧師・チャプレン 宮川 裕美子



ジャン・ジオノの「木を植えた人」という本をご存じでしょうか。一人の羊飼いが木の実を植え続け、たった一人で荒地から森を蘇らせた物語です。買い求めた学生時分にはあまり響かなかった本の中の言葉が、今読むと、どんと心に響いてくるのは不思議です。中でも訳者が、何の見返りも求めず黙々と木の実を植え続ける羊飼いを次のように表しているのが心に留まりました。「ほんとうに世を変えるのは…力まず、目立たず、おのれを頼まず、速攻を求めず、ねばり強く、無私な行為です」。人が見捨てた土地から水の流れる美しい森を蘇らせ、人々が再び集まる場として、希望と憩の場を生み出したのは、一人の羊飼いのそのような姿だったのです。

羊飼いの姿に思いを巡らしていたとき、この聖書の箇所新たな気づきが与えられました。それは、イエスに出会った人々やその働きを端で見ていた民衆は、そこで生じる奇跡や希望の出来事の後、イエスではなく、神をほめたたえ、賛美するのです。自分の働きを通してその背後にある大きな力や心を示す—このイエスの働きに倣い、医療団の「心」を伝える働きの一人として、今日も出かけていきたいと思えます。

やさしさの輪

くすもと あやこ

5階東病棟 看護師 楠本 綾子

“ちいさなかごに”という賛美歌があります。看護学校の頃によく歌った賛美歌の中の一つです。

先日、病棟のあるスタッフが受け持ち患者さんの結婚記念日にこの賛美歌を贈りたいと企画し、一緒に歌ったことがありました。懐かしさと同時に、歌いながら気持ちが温かくなっていくのを感じました。

大きな事をしようと思わなくていい、笑顔で挨拶や“ありがとう”“ごめんなさい”など日常の当たり前の事を心を込めてする事が大切なんだと教えてくれる様な気がします。

その日の体調や気分、業務の忙しさで“当たり前の

事”がおろそかになってしまいがちで、気が付いたら溜め息や愚痴が多くなって…嫌な感情は周りにも伝わるし、自分にも他人にもいい影響は与えないとわかっているのに…笑顔で挨拶されたり、人から“ありがとう”と言われると嬉しくなります。嬉しい気持ちになるとそれだけで元気を貰えます。人から受ける優しさが私を元気にし、さっきまでの嫌な感情がどこかへ行ってしまったなと感じる事もあります。

人からされて嬉しかった事、次は自分から。そんな風に少しずつ、やさしさの輪を伝染させていける人になりたいです。

は—もに— Harmony

新任ドクター紹介

病院



わだ みちこ
産婦人科 医師 和田 美智子

6月から産婦人科に勤務しております。

これまで産婦人科全般を扱ってきました。お役にたてるようがんばりますので、どうぞよろしくお願いたします。

(2012年6月1日着任)



ながの ゆたか
総合内科主任部長 循環器内科部長 長野 豊

動脈硬化が原因となって起こる病気の予防をはじめ、

内科疾患全般について、個々の患者さんに合った診療を心がけて、地域医療に貢献したいと思えます。よろしくお願致します。

(2012年7月1日着任)

眼科クリニック



ささき みほ
医師 佐々木 美帆

眼科の佐々木美帆(平成17年卒)と申します。最先端の検査・治療機器を備えた病院で勤務できることを嬉しく思い、診療のお役に立てるよう努力していきたいと思えます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

診察・治療機器を備えた病院で勤務できることを嬉しく思い、診療のお役に立てるよう努力していきたいと思えます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

(2012年4月1日着任)

イベント報告 病院 7月のチャペルアワー

7月18日(水)の午後、加川えり子氏(歌)、藤田鈴氏(歌)、矢田裕子氏(ピアノ)の3名をお迎えし、「歌とピアノの午後(ひととき)」と題して音楽の時を持ちました。清らかな歌声と優しいキーボードの音色に気分もゆったり。皆で一緒に歌うこともでき、多くの笑顔が見られました。

参加者30名



お知らせ 眼科クリニック 屈折矯正手術(LASIK)説明会

メガネ、コンタクトにかわる屈折矯正手術について詳しくご説明いたします。

開催日時、場所については下記にお問い合わせください。
TEL 075-721-3800 (受付時間 9:00~11:00、13:00~17:00)
URL <http://www.eye-clinic.gr.jp/>
※ホームページからもお申し込みいただけます。

献金・献品 感謝ご報告 (2012.5.1~2012.6.30) 敬称略

西村 嘉寿子 境 初子 日爪 嘉男 山田 則代 山口 俊弘
田原 三男 野村 純世 高橋 真喜子 酒井 清枝
日本キリスト教団 鴨東教会 教会学校
宗教法人 日本バプテスト連盟
日本バプテスト連盟 南千里バプテスト教会
日本バプテスト 相模中央キリスト教会

イマヌエル基金のご案内

当医療団では、キリスト教精神に基づく全人医療充実のための財源として、「イマヌエル基金」を設けています。寄附金は、随時受け付けています。詳しくはおたずねください。

寄附の方法

寄附金は、直接、当医療団へお持ちいただくか、郵便振替での送金をお願いします。領収書は後日お送りいたします。

郵便振替

記号番号 00960-4-282133

加入者名 一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団

お問い合わせ先

日本バプテスト連盟医療団 経理課 電話 (075) 702-5926

イベント予告 病院 9月のチャペルアワー

日時: 2012年9月19日(水) 15:15~15:40
出演: ノートルダム女学院父母の会コーラスクラブ
会場: 病院3階チャペル

看護専門学校より

シオン祭(学園祭)&オープンキャンパス

日時: 2012年10月13日(土)
日本バプテスト看護専門学校を肌で感じてみませんか。
後援会・同窓会の皆様も、この機会にどうぞお越しください。

2013年度学生募集 募集定員24名

推薦入試(牧師推薦・学校推薦)

願書受付: 2012年11月1日(木)~11月9日(金) 必着
試験日: 2012年11月17日(土)

一般入試(一次)

願書受付: 2013年1月7日(月)~1月17日(木) 必着
試験日: 2013年1月26日(土)

一般入試(二次)

願書受付: 2013年2月4日(月)~2月14日(木) 必着
試験日: 2013年2月23日(土)

※募集要項の詳細は学校のホームページにも掲載しています。

編集後記

日中はまだまだ暑さ厳しい今日この頃ですが、夜には秋の気配も感じられる季節となりました。7月には4階西病棟にもHCU(ハイケア・ユニット)と呼ばれる重症の患者さんにも対応できる病棟が新設されました。4階東病棟には外科のHCUが以前よりありましたが、今回は内科病棟にもHCUが出来る運びとなり、急性期病院として新たな一歩を踏み出し、やっと軌道に乗ってきたところです。

日本バプテスト病院の全人医療を生かしつつ、重症の患者さんへのニーズに対応できるように、今後とも職員一同更なる努力をしてまいりたいと思います。(Y.K)

日本バプテスト病院の基本理念は全人医療です。

人間は「からだど、こころと、たましい」からなる全人格的な存在です。

当病院は、イエス・キリストの隣人愛に基づき、全職員がよいチームワークを保ち、専門的知識と技術を活かして、全人医療の業に専念します。

シャローム No.113 2012年9月発行 発行/一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団 発行人/理事長 山岡義生 編集/日本バプテスト連盟医療団広報委員会

この広報誌は日本バプテスト連盟医療団のはたらきを広くお知らせするために作成しております。

著作権、個人情報保護の観点から、流用・転載を固くお断りいたします。

日本バプテスト病院 <http://www.jbh.or.jp/>

バプテスト老人保健施設 <http://www.jbh.or.jp/roken/>

バプテスト眼科クリニック <http://www.eye-clinic.gr.jp/>

バプテスト訪問看護ステーション <http://www.jbh.or.jp/sisetsu/houmonkango.html>

バプテスト在宅ホスピス緩和ケアクリニック <http://www.jbh.or.jp/bhh/>

日本バプテスト看護専門学校 <http://www.jbsn-kyoto.com/>